



茨城労働局長が、建設工事現場をパトロール ～ 年末・年始労働災害防止強化運動を契機に 更なる労働災害防止を呼び掛ける ～

平成 29 年 12 月 4 日



パトロールを前に安全訓話をする西井局長

茨城労働局の西井局長をはじめ、土浦労働基準監督署の工藤署長など計5名が、フジタ・平成建設特定建設工事共同企業体が施工する石岡市新庁舎建設工事現場をパトロール、「墜落・転落」防止対策が講じられているかなどを確認しました。

パトロール後、西井局長は、「年末年始は、早く作業を済ませようと無理な作業になりがちである。安全確認を徹底し、より一層災害防止に努めていただきたい」と話しました。

茨城労働局（局長 西井裕樹）は、年末・年始労働災害防止強化運動期間（12月1日～翌年1月31日）の12月4日、土浦労働基準監督署と合同で、建設工事現場の局長パトロールを実施しました。

あわただしくなる年末年始は、労働災害発生リスクが高くなることから、安全パトロールを実施し、災害防止対策の徹底を呼び掛けることとしたものです。



パトロールを行う西井局長